

2017/5/14 横浜トライアスロン 参戦記

長辻 肇

前日に世界のレベルを目の当たりにし、レースに向けてテンションが上がるかと思いきやそうでもなく、当日の朝もそうでもなく今までにない落ち着き。

冷静に聴けていたせいか、夕方の競技説明会での言葉がずっと脳裏に残る。「ウェットがきついと感じた方は勇気あるDNSを。。。」「DNSを。。。DNSを。。。」

レース当日、久しぶりに着たウェット。きつい(。-)。。。「DNSを。。。」

いや、こんなもんやった。。。はず。。。「DNSを。。。」

深呼吸しても、なーんとなくきつい。。。気のせい。気のせい。。。「DNSを。。。」

ある程度きつくて普通やん。大丈夫。。。俺はチキンじゃない。勇気がないからDNSせーへんのじゃない。きつくない。きつくない。。。「DNSを。。。」

などと考えていたが、さすがにポンツーン手前では無心でいい緊張感。

いざスタート。

かなり時間差のあるウェーブスタートだったのでいつもほどのバトルはない。でもスタート時、左右に外人がいたのでそいつらとは多少争う。ある程度のスタートダッシュ。周りも空いてきたなあ～～なんて思う前に途方もなく心拍が上がってるのを感じる。と同時に説明会の言葉が頭に浮かぶ。

「ウェットがきついと感じた方は勇気あるDNSを」
あかん。なんか気分悪いぞ(。-)

「ウェットがきついと感じた方は勇気あるDNSを」
「DNSを。。。」

いやいや、これは張り切ってスタートダッシュしたからやって。。。大丈夫

「ウェットがきついと感じた方は勇気あるDNSを」
「DNSを。。。」「DNSを。。。」



もうちょっとしたら落ち着く落ち着く(。-)。

とか必死で考えながらキックを控え少しペースを落として泳ぎ続ける。少しうろろしてしまったものの何事もなく無事スイムアップ。トランジションエリアに向かって走ってる途中で「はじめ！結構速いぞ！」と仲間と言われ swim トレーニングの成果が出た！と少し嬉しくなる。実際は過去最低のタイムでしたが。。。

bike は全力投球で 40km を回し続ける。あっちこちにターンがあるかなりのテクニカルコース。全てのコーナーでギリギリまで回し、コーナーでは内側に突っ込み、立ち上がりは全てダンシング。こんなに突っ込んで run 大丈夫かなあ。。。と思うが取り敢えず全部突っ込んだ。抜かれたのは 2 人だけ。



何も考えず突っ込み続けた為か、bike の降車ラインがどこかも考えていなかったの、シューズを脱ぎ忘れる始末。更に T2 では自分のラックがどこかわからず暫くさまよう事に。。。とは言っても 20~30 秒位のロスかな？

さあ得意の run。行くかあ〜！！と、気持ちは高ぶるが足が上がらない(。-)しかしコース上は至る所に知り合いが。こんな時にこれほどありがたいものはない。絶えず応援を貰い、自ら気合を入れ直し、暫く我慢して走り続けると段々走れる様になってきた。ゴールまでに抜かれたのは 1 人だけ。

とにかくカッコ悪い姿は見せれない。京都に行ってショボくなった。JAPAN って書いてますけど？などと絶対に思われたくない。絶えずそんな事を考えながら走り続けラストスパート。



ゴール直後に期待をしながら時計を見ると 2 時間 13 分。あんだだけ bike 突っ込んで、結果的にかなり run もいけてたはずなのに 13 分。3 人にしか抜かれてないのに。。。10 分切りを目標とし、それを切れば表彰台が見えるだろうと思っていたのでゴール直後からガクーン。。。。

結果は 2:13:35(s27:46b1:08:37r37:12)で総合 42 位、エイジ 10 位。前日の土砂降りによる水質悪化や多少のうねりがあったとは言え swim 遅すぎました(T ^ T)

さすが国内で最もレベルの高いレース。そう簡単には表彰台には上がりませんでした。しかし京都の山々で鍛えられた足はかなりの戦闘力になりました。

とは言うもののまだまだ力不足でした。出直します。